

台湾高雄市立高雄女子高級中学 来校

十二月四日(月)、台湾高雄市立高雄女子高級中学から生徒三十二名と引率教員二名が、修学旅行の研修地のひとつとして日高高校を訪れました。

台南にあるこの女子校は、生徒数2千人を超える大規模校です。本校は国際交流委員会を中心に、来日前の十月からオンラインを利用したグループ活動に取り組んできました。八つのグループに分かれ、それぞれバディを決めて、双方の学校や高校生活の様子をネット上で共有していました。



お互いにお気に入りの音楽や文化など前もって情報交換していたので、来校当日は、遠方からの友だちに会ったように気さくに迎えられて、打ち解けた雰囲気での交流活動ができたようです。放課後にはクラブ活動にも参加しました。

～生徒の感想より～

二年五組 赤松 采花

私は台湾国際交流を通して、理解することや伝えることの大切さを痛感しました。私は、どうしても外国は遠い、日本とは違うと感じていました。しかし、オンライン交流やペアの子と話している中で、共通点を見つけられ、同じ学生だなと思うことが沢山ありました。また、私自身、人前で話すのも英語も苦手で、交流の際は拙い英語で話してしまいました。一生懸命に話しているうちにペアの子と仲良くなり、伝わったという達成感と

台湾とのつながりを感じる事ができました。言語だけでなく、表情やジェスチャーも大切なコミュニケーションの一つであると学びました。世界を身近に感じる貴重な経験でした。

一年一組 宇和 峻輝

台湾の生徒が来校し感じたことはやはりとても親日的だと言うことだ。事前に行われたオンライン交流では、日本のアーティストやマンガを多く知っており日本語をしゃべる生徒も別の班にいと聞



いて驚いた。英語の発音がとてもよい生徒ばかりで、翻訳アプリなしでのコミュニケーションは難しいほどだった。自己紹介動画を見せ合い、趣味の話をして盛り上げることができた。交流当日、台湾の生徒が「青のすみか」のダンスを踊っていたのが印象に残っている。昼食を一緒に食べたときは、台湾のお菓子を沢山もらって嬉しかった。これからも台湾の生徒と交流することがあれば今回の経験を生かし、スムーズに交流を進められたらいいなと思った。

